

健康を支え、守るための社会環境の整備 I

健康づくりを支える環境

健康づくりに取り組むためには、個人が健康づくりに取り組むだけでなく、社会全体が相互に支え合いながら健康づくりを支える社会環境を整備することが重要である。

健康には「人と人との絆」や「人と人との支え合い」などの地域のつながり（ソーシャルキャピタル）が影響するため、健康づくりを推進するうえでは、地域のつながりを強化することが必要となる。



○市民の主体的な健康づくりの取組を支援するための環境整備

- ・個人を取り巻く地域における、地域活動や健康づくりネットワークの促進に関する取組
- ・健康づくりに関する団体・関係機関との連携協働による取組

【取組内容】

- 健康づくりに関する普及啓発
 - ・ホームページ等を活用した情報提供
 - ・各種教室や健康教育の実施
 - ・イベント、パネル展の開催
 など
- 地域活動、健康づくりネットワークの促進
 - ・健康づくりサポーター派遣等による自主活動グループの育成・支援
 - ・健康づくりネットワーク活動の促進
 など
- 健康づくりに関する人材育成
 - ・食育ボランティア育成、活動支援
 - ・ウォーキング実践指導ボランティア養成
 - ・ゲートキーパー養成
 など
- 団体・関係機関との連携協働による取組
 - ・栄養成分表示の店推進事業
 - ・ヘルシーメニュー普及事業
 - ・ウォーキング実践指導ボランティア養成
 - ・ウォーキングマップ作成・普及
 - ・健康づくりセンター利用促進
 - ・禁煙・完全分煙施設の登録
 など
- 地域職域連携推進事業
 - ・職域と連携した講演会の開催
 など